

SDGs パートナー「アルバルク東京」との新たな取り組みとして小学校でバスケ教室を開催！

アルバルク東京×サーモス「バスケとSDGs 教室」を実施

魔法びんの再資源化を目的とした『ステンレス製魔法びん 回収サービス』を校内に期間限定で設置

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有二）は、SDGs パートナー契約を締結している B リーグ所属のプロバスケットボールチーム「アルバルク東京」と **2024年12月17日（火）に新宿区立花園小学校**（所在地：東京都新宿区）にて**体育の授業内で「アルバルク東京×サーモス バスケとSDGs 教室」を開催しました。**

当日は、「アルバルク東京」のアカデミーコーチ2名によるバスケットボール教室や、当社が取り組んでいる SDGs 活動のミニセミナーを実施しました。また同日より、当社が SDGs 活動の一環として取り組んでいる『ステンレス製魔法びん 回収サービス』を今回の開催校である新宿区立花園小学校内でも実施いたします。本取り組みを通して、今回教室に参加した子どもたちだけでなく、その保護者や学校関係者にも、当社の SDGs 活動が広がることを目指します。



■「バスケとSDGs 教室」

今回のバスケットボール教室は小学5年生と6年生合わせて26名が参加しました。「アルバルク東京」のアカデミーコーチ指導の下、パスやドリブルのレクチャー、ミニゲームなどを実施しました。参加した子どもたちは汗を流しながら、楽しくバスケットボールに取り組みました。

また、SDGs 教室では、当社の社員が講師となり、SDGs 活動の一環として取り組んでいる『ステンレス製魔法びん 回収サービス』について説明しました。

参加した子どもたちからは「短い時間でしたがバスケットボールもとても楽しく、SDGs のセミナーもためになりました」などといった声がありました。



アルバルク東京のアカデミーコーチによるバスケ教室



サーモス社員によるSDGs 教室

■『ステンレス製魔法びん 回収サービス』実施の詳細 ※関係者様限定の実施

SDGs 教室では「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」をテーマに、回収から再資源化へのサイクルや一人ひとりにできることについてお話ししました。その身近な取り組みである『ステンレス製魔法びん 回収サービス』を今回初めて小学校で実施し、ステンレス製魔法びんの再資源化を目指して、下記日程にて期間限定で回収を行います。

- ・回収期間： 2024年12月17日（火）～2025年1月31日（金）
- ・回収BOX設置場所： 新宿区立花園小学校 校内



校内設置の回収BOXとポスター

【回収対象製品】

使用済みステンレス製魔法びん構造のボトル、タンブラー、スプージャーなど

※回収BOXの利用は、新宿区立花園小学校の関係者（児童、職員、保護者）のみとさせていただきます、一般の方のご利用はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

■当社とプロバスケットボールクラブ アルバルク東京との取り組み

2021年よりアルバルク東京とサーモスは「SDGs パートナー」契約を締結しており、アルバルク東京のホーム試合において試合観戦時のマイボトル利用を促す『マイボトル推進プロジェクト』や、真空断熱ジョッキでドリンクを提供する特別企画シート「THERMOSシート」の設置、試合会場での使い捨て容器の削減に向けた施策など、様々な取り組みを推進しております。

